

## 第10回遠州広域行政推進会議 次第

日 時：平成27年11月5日（木）  
午後3時30分から午後4時40分まで  
場 所：磐田市役所本庁舎4階 大会議室

### 1 開 会

### 2 座長あいさつ

### 3 開催市長あいさつ

### 4 議 題

広域連携による文化財の保護と活用について

#### (1) 講演及び意見交換

講 師：静岡産業大学総合研究所客員研究員 中村 羊一郎氏

#### (2) 中間報告及び意見交換

### 5 進捗状況報告

「健康寿命の延伸に向けた連携」の進捗状況について

### 6 その他

### 7 閉 会

## 第10回遠州広域行政推進会議（11／5）出席者

市 町	出席者	
浜松市	市長	鈴木 康友
磐田市	市長	渡部 修
掛川市	副市長	伊村 義孝
袋井市	市長	原田 英之
湖西市	市長	三上 元
御前崎市	市長	石原 茂雄
菊川市	市長	太田 順一
牧之原市	副市長	杉本 基久雄
森町	町長	村松 藤雄

# **第10回**

## **遠州広域行政推進会議**

### **会議資料**

**開催日：平成27年11月5日(木)**

**開催地：磐田市**

## 会議資料

- ・資料 1 文化財の保護と活用に係る講演について…………… 1
- ・資料 2 広域連携による文化財の保護と活用について（中間報告）…………… 5
- ・資料 3 健康寿命の延伸に向けた連携について（進捗状況報告）…………… 7

## 文化財の保護と活用に係る講演について

- 1 講演テーマ  
「文化財による遠州一体感醸成の可能性」
- 2 講師  
中村 羊一郎（なかむら よういちろう）  
（静岡産業大学総合研究所 客員研究員）



<b>略 歴</b>	昭和 18 年 静岡市生まれ 東京教育大学文学部卒 静岡県立静岡高校教諭、静岡県史編さん室長、高等学校長などを経て、静岡産業大学情報学部教授、現在は同大学総合研究所客員研究員
<b>専 門</b>	民俗学
<b>著 書</b>	『番茶と庶民喫茶史』、『ミャンマー、いまいちばん知りたい国』『家康公、静岡しっかりせよと仰せられき』ほか 『中日新聞』（毎週日曜日）「しずおか徒然草」連載中
<b>そ の 他</b>	静岡市歴史文化施設建設検討委員会委員長、お茶の郷博物館運営委員会委員長、（一社）和食文化国民会議理事、（財）世界緑茶協会評議員など
<b>活動内容</b>	静岡県史・県内市町史・民俗調査報告書を作成。また国内はもとより中国・東南アジアとくにミャンマーにおける茶の調査を積み重ね、庶民の日常茶である番茶を学問的に位置づけ、茶文化の総合的研究に新たな分野を切り開いた。

- 3 備考  
講演終了後、首長との意見交換を予定。



文化財による遠州一体感・一体感醸成の可能性 2015.11.5 遠州広域行政推進会議

複雑な歴史的背景の克服

〈近世の遠州〉 中小藩の分立と藩主交代及び他藩の飛び地  
天領・旗本領・寺社領の入り組み

浜松藩

徳川家康→堀尾→松平→水野→高力→松平→太田→青山→松平→井上→水野→井上

掛川藩

朝比奈→石川→山内→松平→朝倉→青山→松平→本多→松平→北条→井伊→松平→小笠原→太田→(幕末まで)

横須賀藩

大須賀→松平→渡瀬→有馬→松平→井上→本多→西尾→(幕末まで)

相良藩

本多(1710年)→板倉→本多→田沼→(天保11年)

旧高旧領(幕末時の状況)

1239か村 37万3182石 相給の村も多い

内訳 幕府領4万1388石 浜松藩領5万2415石 掛川藩領4万2064石 横須賀藩領4万619石 相良藩領1万1248石 伊勢国長嶋藩領6838石 三河国挙母藩領4337石 三河国西尾藩領5199石 三河国吉田藩領6431石 陸奥国白河藩領1万604石 丹波篠山藩領1万248石 旗本領及び寺社領14万1787石

★お国ぶりは？

『人国記』戦国時代に成立 国ごとに気風を述べる

遠江国の風俗、三河に異ならずして、人の気何事に付きても怯む気なし。然るによって死すべき所とみるときんば、たとへ節に当たらずしても死をする人多し。

然りといへども三州に替りて、物を頼みにする気あり。これによって諂(へつら)ふ氣質表れて見ゆる儀、事々に付きてかくの如し。されども昨日味方になり、今日敵になる如くの儀は、いかに頼む程の儀ありととも、有るまじき国なり。唯己れ己れが智を以て下より上をはかって、我を知らずして、上下ともに主の善悪を下(しも)として誹謗して、而もそれを諫むることなく、党を立て、他を求めんことを好む族の風俗なり。

智恵あつて気尖(すど)なる故、善に近し。何事に付きても明日と延ぶることの成らざる風俗なり。嫌ふ処も多し。一国の内にて東へよりて、一入かくの如くなり。

〈参考〉

駿河の国の風俗、遠州に替り、人の気狭くして、しかも実少なし。然れども気狭きが故に、伸ぶる心少なく、気の屈する時は取り直す事ならずして、命を終るもの時々なる故に、思ひつめたる時は気一和(いっか)する故、片くへなき所あり(心が沈静して頑固で物わかりの悪いところがある) 伊豆の国の風俗、強中の強、好・不調を問わず

広域を結ぶ民俗芸能

歴史と浜名湖の活用

1 井伊氏と川名

井の国 天白磐座遺跡 おどろおどろしい世界 井伊氏の始まり？

再来年の大河ドラマ 女戦国大名 次郎法師直虎 (1530年代～1582)

川名 福満寺 溪雲院様＝井伊直平② 永禄6年9月12日死去

次郎法師は直平の曾孫 直虎

永禄9年 [1566] 霜月吉日 福満寺に奉納の鐘銘 → 供出されてしまったという

「大檀那 次郎法師 願主 瀬戸四郎右衛門など」 虎松 (②直政のこと) の養母

井伊の赤備え 武田軍団を継承 ひこにゃん

参考図書 『湖の雄 井伊氏 ～浜名湖北から近江へ、井伊一族の実像～』

しずおかの文化新書 16 静岡県文化財団 2014年

2 遠州祭り屋台 舞坂の大太鼓 屋台は全域に分布、熱狂度もすごい

3 田遊び・田楽系の中世芸能 中世荘園制の名残

法多山 水窪 引佐 天竜

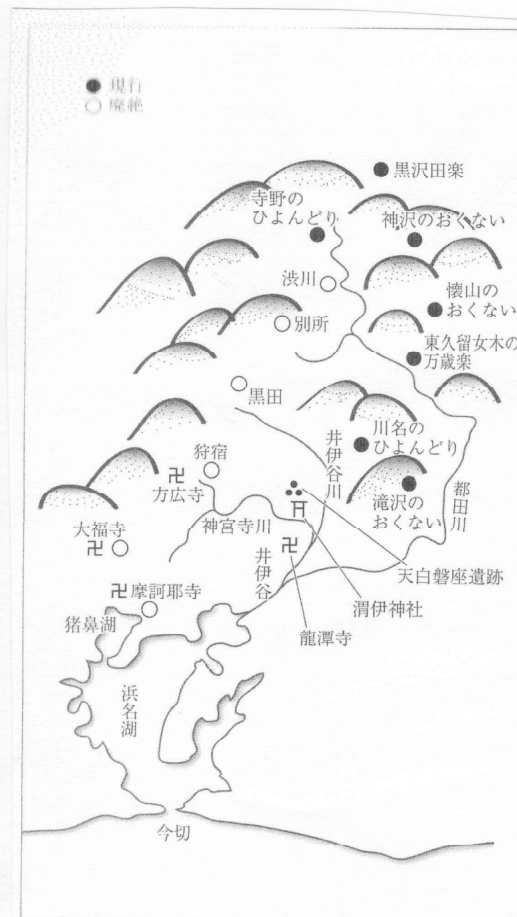
4 浜名湖をめぐる歴史・芸能・生業 (漁)

浜名湖湖上渡御 (細江神社) 呉松鹿島神社の船神輿 お船神事 (牧之原市)

万人講、農村歌舞伎 (引佐の横尾開明座) 浜名湖の猫網 ボラ



川名のひよんどり (両イナムラの舞)



湖北修正会のおくない分布図



## 広域連携による文化財の保護と活用について（中間報告）

### 1 経緯と目的

文化財に関する施策では、従来のように保護するだけでなく、公開・活用することが求められる。昨年度から募集が始まった文化庁の「日本遺産」認定制度も文化財を国内外に広く紹介し、広域で連携して観光・地域振興にもつなげることをめざしている。文化財保護行政において、遠州広域に共通するテーマを設定し、各市町が連携した公開事業を開催できるか研究する。

### 2 体制

「遠江歴史文化ネットワーク」<sup>\*</sup>や、三遠南信地域連携などの既存の枠組みを活用しながら研究を進める。

※平成 20 年度に発足した旧遠江を所管する 12 市町の文化財所管課担当者の連絡会  
 <参考>遠江歴史文化ネットワーク参加市町

湖西市	浜松市	磐田市	袋井市	掛川市	森町
菊川市	御前崎市	牧之原市	島田市	吉田町	川根本町

### 3 研究内容

- ①各市町に所在する幅広い文化財について、遠州広域に共通するテーマの設定及び「日本遺産」認定も含めた活用方法等の検討
- ②史跡等へのアクセス、見学者利便性を向上するための広域連携事業の検討

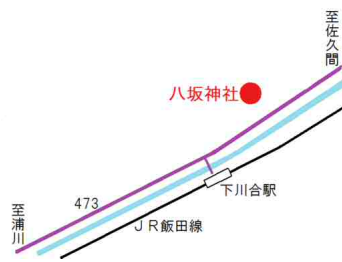
### 4 今後の方針

「遠江の今川氏」を共通テーマとした公開事業を行うとともに、文化財を紹介する広域マップ作成について検討する。また、三遠南信地域に係る「日本遺産」認定を視野に入れた広域連携による遠州地域の文化財の活用について検討する。

### 5 協議経過と予定

平成 27 年 8 月 27 日	遠江歴史文化 NW 幹事市(磐田市・浜松市)と調整。
平成 27 年 9 月 3 日	遠江歴史文化 NW 会議にて提案、了承。公開事業の共通テーマを「遠江の今川氏」として各市町に素材提出を依頼。
平成 27 年 10 月 5 日	素材提出期限。以後、文化財パネルの作成、校正。
平成 27 年 11 月 5 日	遠州広域行政推進会議(予定)にて中間報告。
平成 27 年 11 月以降	文化財パネルの各市町巡回展示を開始。 広域マップの製作可能性と、各市町での必要性を検討。
平成 28 年 3 月	遠江歴史文化 NW 会議にて経過報告、事業検証。
平成 29 年 4 月以降	平成 29 年度以降の共通テーマについて協議。 新たなテーマで広域連携の継続。「街道」「産業遺産」「花」等。 前年度テーマによる展示パネル巡回展示の継続。

## 6 公開事業の実施例（イメージ）



浜松市天竜区佐久間町川合には、奥三河や南信州と共通する花の舞（花祭り）が伝えられている。川合では毎年10月最後の土曜日の午後3時から翌朝にかけて、同所に鎮座する八坂神社に奉納される。

花の舞は、県境をまたいだ各地の集落で、秋から冬にかけて盛況に催されている。本来は、旧暦の霜月（11月）に開催した祭礼が起源で、五穀豊穡・無病息災を祈願する湯立て神楽を中心とする。とりわけ、奥三河では奉納される舞の演目のうち、花笠の踊り「花の舞」が有名で、この芸能全体の名称となっている。当市の花の舞も同じ系譜にあたり、同町今田などでも11月に開催している。

さらに、かつては浜松市内北部の数多くの集落で開催されていた痕跡が神社や旧家の持ち物に残されている。

川合での演目は、18番を数える。舞の構成は、地固めに始まり、二ツ舞、三ツ舞、山見鬼、四ツ舞、榊鬼、おかめの舞、湯立ての舞と続く。独特の調子の笛と掛け声、諸所に登場する鬼が特色の祭りである。

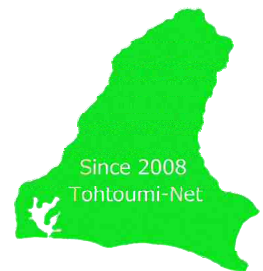
川  
合  
花  
の  
舞

浜  
松  
市

テーマ共通パネルの例  
（浜松市提供分）  
フレームは参加市町共通



遠江歴史文化ネットワーク



共通ロゴマーク

いずれも過去の展示例

新居宿旅籠  
紀伊国屋資料館  
（湖西市会場）

## 健康寿命の延伸に向けた連携について（進捗状況報告）

### 1 経緯と目的

平均寿命に代わって注目される「健康寿命」は、政令指定都市トップである浜松市、都道府県トップの静岡県など、遠州地域にとって大きな魅力となる可能性を持っている。また、高齢者人口の増加や高齢者の高年齢化が急速に進んでおり、健康寿命の延伸は各自治体の共通の課題となっている。

そのため、遠州地域全体として健康寿命の延伸に向けた取組を検討することとする。

### 2 研究内容

介護予防、お茶の効能などの健康寿命の延伸にかかる事業について、情報整理、意見交換及び広域連携事業の検討を行う。

### 3 体制

健康寿命の延伸にかかる事業ごとに、必要に応じて8市1町の担当国会議を開催する。

### 4 進捗状況と今後の方針

介護予防事業については、担当国会議を開催し、圏域の高齢者を取りまく状況を整理するとともに、研究テーマを「介護予防事業の展開における情報共有と広域連携の可能性の検討」とすることを確認した。今後は、担当国会議による研究を進める。

お茶の効能については、掛川スタディ、静岡県による高齢者コホート研究など既存の調査があることを確認した。今後は、既存調査結果の内容を確認するとともに、さらに資料を収集し、必要な検討を行う。

### 5 協議経過と予定

- |                  |   |
|------------------|---|
| 平成 27 年 10 月 9 日 | ・第 1 回介護予防事業に関する担当国会議の開催<br>(目的・研究テーマを確認、各市町の状況等の整理)    |
| 平成 27 年 11 月 5 日 | ・第 10 回遠州広域行政推進会議にて中間報告。                                |
| 平成 28 年 1 月頃     | ・第 2 回介護予防事業に関する担当国会議<br>(特色ある取組の情報共有、広域連携の可能性のある事業の選定) |
| 平成 28 年 5 月頃     | ・第 3 回介護予防事業に関する担当国会議<br>(広域連携の可能性のある事業の選定)             |
- ※お茶の効能については調整中